

11月	矢作川 愛護モニター報告	モニター区間	矢作川: 左右岸 15.0km~21.0km
			管轄出張所: 岡崎・安城出張所
実施日	令和 4 年 11 月 3 日	実施区間	15.0km ~21.0km (左岸)

青空の下、川面は鏡のように

野草群も色鮮やか

5回目になる11月のモニタリングは、秋の深まりを感じるようになった3日(木)「文化の日」で、快晴の1日でした。川辺の野草群も、色鮮やかで、あらためて季節の移ろいを感じさせてくれます。遠くから見ると、川面は青空の下、鏡のように見えました。水量も先回に比べ、ぐっと減っているようでした(①)。



①秋の深まりとともに、野草群も鮮やかに

堤防沿いに紅吉野の桜並木

成長が楽しみ

この区間(左岸18Km付近)の堤防には、ヨウコウサクラ(紅吉野)が植樹されていました。植樹されて間もないらしく、まだ木全体が小ぶりです。樹木名のプレートもあり、利用者にはうれしい配慮もされています。近い将来、散歩する人の目を楽しませてくれるでしょう(②)。



②堤防沿いにヨウコウサクラ(紅吉野)

高齢者も若い親子連れも

今回も、先回と同様に河川敷の公園は、多くの人に活用されていました。高齢の人々はゲートボールをして、楽しんでいました。また近くの空き地では、若い親子が簡易テントを広げて、小春日和の休日をのんびりと過ごしていました(③17.4Km付近)。

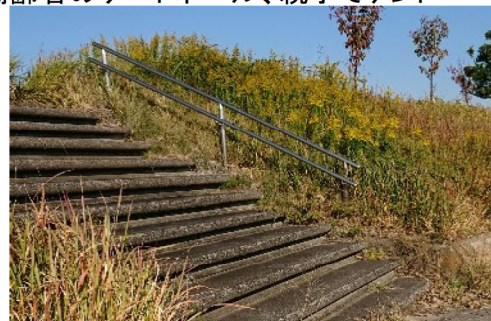


③高齢者のゲートボール、親子でテント

撤去された投棄ゴミ

当日も除草の作業者が

先回は投棄された簡易ダンスがあった堤防階段。今回は、きれいに撤去されていました。無神経な人がいる一方で、こうした粗大ゴミの撤去作業を、目立たずともしっかりとってくれる人がいることに感謝です。当日も、急こう配の堤防の雑草をていねいに刈り取っている作業者を見かけました(④)。



④撤去された簡易ダンス、徹底したいゴミゼロ